

1月の安全衛生歳時記

2024年1月の安全衛生カレンダー

1日～8日

11月1日～3月31日◎冬の省エネキャンペーン（経済産業省）◎ウォームビズ（環境省）

12月1日～1月15日◎年末年始無災害運動（中央労働災害防止協会、厚生労働省）

12月1日～1月15日◎建設業年末年始労働災害防止強調期間（建設業労働災害防止協会、厚生労働省、国土交通省）

12月1日～4月30日◎安全衛生教育促進運動（中央労働災害防止協会、厚生労働省）

12月10日～1月10日◎年末年始の輸送等に関する安全総点検（国土交通省）

1月1日～2月29日◎「はたちの献血」キャンペーン（厚生労働省）

1日（月）・元日（初詣、初日の出、年賀）

・省エネルギーの日（毎月1日、資源エネルギー庁）

・標準時が実施 1889（明治22）年、東経135度の兵庫県明石市が基準に

・警視庁がオートバイでの交通取締りを開始 1918（大正7）年、初めは赤バイ、1936（昭和11）年に白バイに

・自動車リサイクル法（使用済自動車の再資源化等に関する法律）施行 2005（平成17）

★新潟・弥彦神社の餅まきに群集が殺到し石段で将棋倒し、124人が圧死、94人重軽傷 1956（昭和31）

★豪雪のため北陸で列車100本が立ち往生、乗客15万人が車内で年越し 1961（昭和36）

★スキー客で満員の観光バスが青木湖に転落、水没して死者不明24人 長野・大町 1975（昭和50）

2日（火）・初荷、初商い、書初め、初夢

★「二重橋事件」皇居参賀に38万人、二重橋で群集が将棋倒しになり16人が圧死 1954（昭和29）

★ロシア籍タンカーが座礁して重油6,000klが流出、日本海沿岸7府県の海岸を汚染 1997（平成9）

3日（水）・ジョン万次郎が帰国 1840年、漁をされていて遭難、米の捕鯨船に助けられ、11年ぶりに米船で琉球に到着 1851（嘉永4）

★石油工場の訓練所のボンベからガスが漏れて爆発、1人死亡、14人負傷 千葉・市原 1975（昭和50）

★東京・JR有楽町駅近くの建物から出火し、東海道新幹線が5時間余りほぼ全線不通に 2014（平成26）

★化学品工場の銀粉製造工程でタンクのガラス窓が破裂して有毒ガス発生、2人死亡 埼玉・本庄 2016（平成28）

4日（木）★強風と降雪でJR北陸線が立ち往生、帰省客が「列車ホテル」で一夜を明かす 2003（平成15）

★鹿児島空港から熊本空港に向かうセスナ機が墜落、2人死亡、2人負傷 熊本・球磨 2002（平成14）

★簡易宿泊所（鉄骨造10階建）5階から出火し火災、2人死亡、8人負傷 神奈川・横浜 2019（平成31）

5日（金）・日露戦争で旅順のロシア軍降伏、乃木、ステッセルが水師營で会見 1905（明治38）

★愛知県守山町で名鉄電車が速度過大で脱線し35人死亡、154人負傷 1948（昭和23）

★東京・六本木のディスコで照明装置が落下、3人死亡、14人負傷 1988（昭和63）

★建材工場で木材を圧縮して固める装置が爆発して炎上、約5千㎡を焼き3人重軽傷 北九州市 2004（平成16）

★大型トレーラーが急ブレーキ、積荷の鉄板が運転席を押しつぶし2人死亡 茨城・水戸 2007（平成19）

6日（土）・小寒

・消防出初め式

・中央省庁再編スタート 1府22省庁が1府12省庁として再発足 2001（平成13）

★平安神宮（京都）が過激派の放火で大極殿を除き全焼 1976（昭和51）、3年後に再建

★化学メーカー工場で爆発事故 屋内に煙が充満し、爆風で壁が吹き飛ぶ。2人がヤケドなどのケガ 宮城・大崎 2021（令和3）

7日（日）・七草（七草粥）・七日正月

・佐藤首相とニクソン米大統領の共同声明で、沖縄返還決まる 1972（昭和47）

★下関駅舎放火で全焼 倉庫付近から出火、木造一部2階建て駅舎部分を全焼 山口・下関 2006（平成18）

★工業用水配管地下工事現場でCO中毒、3人死亡 排気なし状態で発電機使用 福岡・北九州 2008（平成20）

★飲食店ビルなど市内6ヶ所で放火による火災、20人が重軽傷 北海道・函館 2009（平成21）

★化学工場が高圧反応釜が爆発、従業員・通行人10人が負傷 神奈川・横浜 2010（平成22）

8日（月）・成人の日（1月第2月曜）

・平成スタートの日 1989（平成元）

★農業用水配管交換工事現場で土壁が崩れ2人が生き埋めになって死亡 名古屋 2004（平成16）

★高齢者介護施設のグループホームが全焼、入居者9人のうち7人が死亡 長崎・大村 2006（平成18）

1月の安全衛生歳時記

9日～19日

9日(火)・製品安全点検日(毎月第2火曜、経済産業省)

・サウジアラビア、リビア、クウェートがアラブ石油輸出国機構(OAPEC)を結成 1968(昭和43)

★集落の裏山で幅400mにわたる大規模な雪崩 民家約30棟が巻き込まれ、158人死亡 新潟・三俣 1918(大正7)

★雑居ビル内の更衣室でタバコの不始末から出火し12人死亡、13人負傷 神奈川・川崎 1966(昭和41)

★鉄鋼工場内で溶鉄運搬中のトラックが横転炎上して2人死亡 埼玉・久喜 2003(平成15)

★化学工場で熱交換器を洗浄のため解体中、水素で蓋が飛び、5人死亡、12人負傷 三重・四日市 2014(平成26)

★アスファルト製造工場で攪拌機械のメンテナンス中、機械に挟まれ作業員2人死亡 東京・府中 2021(令和3)

10日(水)・110番の日(警察庁)

・LPガス消費者保安デー(毎月10日、高圧ガス保安協会)

・ロンドンで世界初の地下鉄が開業 全長6km、当初は蒸気機関車 1863(文久3)

・国際連合第1回総会がロンドンで開催、51カ国参加 1946(昭和21)

★石灰岩の採石場で石灰岩が崩壊し9人死亡、7人負傷 大分・戸高 1970(昭和45)

★製本工場でクレーンで搬入中の断裁機が落下、衝撃で3人転落し2人死亡1人重傷 埼玉・久喜 2007(平成19)

11日(木)・鏡開き

・東京に初のスモッグ警報出る 1965(昭和40)

★「三沢大火」市内中心部の繁華街で出火、強風にあおられて延焼し、450棟焼損、負傷13人 青森・三沢 1966(昭和41)

★自動車部品工場でストーブの火がホワイトガソリンに引火して1人死亡、4人重軽傷 埼玉・岩槻 1992(平成4)

★溶錬工場で溶鉱炉の耐火レンガの補修中酸素が漏洩して火災となり3人死亡 福島・小名浜 1996(平成8)

12日(金)★桜島(鹿児島)が大噴火、大隈半島と陸続きとなる、死者58人、負傷112人 1914(大正3)

13日(土)★「三河地震」(愛知県南部)M6.8 死者2,306人、家屋全半壊1万6千戸 1945(昭和20)

★踏切でダンプカーに衝突脱線した電車が別の電車が衝突、5人死亡96人負傷 東海道線保土谷戸塚間 1961(昭和36)

★製油所の埠頭でナフサ積み込み中のタンカーが爆発炎上し3人死亡、3人重体 北海道・室蘭 1993(平成5)

★病院のボンベ保管庫で医療用液体酸素ボンベが爆発、入院患者ら10人が負傷 京都市 2004(平成16)

★マンション建設現場の8階の密閉空間で塗装作業中の2人がCO中毒で死亡 北海道・札幌 2016(平成28)

14日(日)・タロとジロの日 前年悪天候のため南極昭和基地に置いてきたカラフト犬の生存が確認、「愛と希望と勇氣の日」ともいう 1959(昭和34)

★「伊豆大島近海地震」M7.0 崖崩れ多発し死者25人 伊豆半島 1978(昭和53)

15日(月)○防災とボランティア週間(～21日、内閣府)

◎緑の募金(～5月31日、国土緑化推進機構)

★「静岡大火」静岡市中心部の民家から出火し乾燥と強風で飛び火、5千棟以上焼失、死者2人、負傷者770人以上 1940(昭和15)

★「北海道釧路沖地震」M7.8 釧路で震度6、死者2人、負傷者967人 1993(平成5)

★スキーバスが反対車線のガードレールをなぎ倒し道路脇に転落、15人死亡、26人重軽傷 軽井沢 2016(平成28)

16日(火)・「インフルエンザ」の語が新聞に初登場 1890(明治23)

★首都圏に大雪で交通ダイヤ大混乱、転倒により負傷者多数 1990(平成2)

★スプレー缶のガス抜き作業中に爆発、ビル火災 作業男性2人とビル管理人の3人がケガ 東京・港区 2023(令和5)

17日(水)・防災とボランティアの日 内閣府、1995(平成7)年のこの日発生した阪神・淡路大震災を契機に決まる

★化学工場でアンモニア合成工場の高圧装置が爆発、1人死亡、26人負傷 神奈川・横浜 1958(昭和33)

★台所のコンロのそばの壁内部の木材が「低温加熱」で火災、一家5人死亡 静岡・伊豆町 1994(平成6)

★「阪神・淡路大震災」(兵庫県南部地震)M7.2 死者不明6,435人、負傷者43,792人 1995(平成7)

★原油タンク点検清掃中火災発生、5人死亡 愛媛・今治 2006(平成18)

18日(木)・118番(海上保安庁緊急電話)の日

・二輪・自転車安全日(毎月18日)

★「明暦の大火」(振袖火事)外堀内のはほぼ全域、江戸城や多数の大名屋敷、江戸市街地の大半焼失、死者10万人以上 1657(明暦3)

★炭鉱坑内のベルトコンベアーの過熱から坑内火災となり83人死亡 福岡・三池 1984(昭和59)

★ガソリンを積んだタンクローリーと大型トラックが正面衝突し爆発、2人死亡 岐阜・下呂 2003(平成15)

★小学校で火災、44人負傷 給食調理場から出火、油加熱中の大型コンロの火の消し忘れが原因 大阪・寝屋川 2019(平成31)

19日(金)・食育の日(毎月19日、内閣府)

・家庭用消火器点検の日(「119番」にちなみ、全国消防機器販売業協会)

★臨時作業者が駅構内の除雪作業中、臨時列車にはねられて4人死亡 青森・青森駅 1998(平成10)

★東北自動車道下りで車61台が玉突き事故 ホワイトアウトで視界不良、1人死亡、重軽傷24人 宮城・大崎 2021(令和3)

1月の安全衛生歳時記

20日~31日

- 20日(土)・大寒(だいかん)(24節気の一つ、一番寒い時期)
・マイカーチェックデー(毎月20日、阪神間7市が提唱)
◎血栓予防月間(～2月19日、日本ナットウキナーゼ協会)・血栓予防の日(20日=ツマル、日本ナットウキナーゼ協会)
★塗料製造工場で乳化反応釜が爆発炎上して91人負傷 大阪・此花区 1973(昭和48)
- 21日(日)★製鉄所の脱炭設備付近から一酸化炭素ガスが漏れ工事業者ら1人が死亡、5人入院 北九州 1991(平成3)
★鋳物工場で溶解炉の溶鉄が冷却水と接触して水蒸気爆発、4人重傷 新潟・長岡 2008(平成20)
- 22日(月)・国鉄が指定券のコンピューター販売を開始→みどりの窓口 1970(昭和45)
★新聞販売店でバイクにガソリンを給油中引火して火災、6人死亡 愛知・日進町 1982(昭和57)
★JR御徒町駅ガード下道路が陥没、東北新幹線地下トンネルの手抜き工事が原因 東京・台東区 1990(平成2)
★幼稚園の人文字撮影に飛来したセスナ機が駐車場に墜落、乗員3人死亡 山梨・甲府 2004(平成16)
★リサイクルセンターで荷下ろし中、圧縮した古紙の塊の下敷きになり作業員が死亡 埼玉・川越 2021(令和3)
- 23日(火)★青森の歩兵連隊が八甲田山雪中行軍で遭難、199人が死亡 1902(明治35)
★建造中の自動車運搬船と陸地を結ぶタラップが落下、2人死亡、24人重軽傷 大分・大分 2009(平成21)
★「草津白根山(本白根山)噴火」噴石が飛散し、スキー客等11人負傷、訓練中の自衛隊員1人死亡 群馬・草津 2018(平成30)
★ビルの地下駐車場で消火設備点検中、二酸化炭素ガス誤放出、2人死亡、1人負傷 東京・新橋 2021(令和3)
- 24日(水)・ボーイスカウト記念日 1908(明治41)年、イギリスでボーイスカウトが結成
★地下高圧ガス管から漏れた都市ガスが爆発、住宅17棟全半壊、6人死亡 26人負傷 東京・江東 1963(昭和38)
★化学工場の高圧反応器からエチレンガスが漏洩して爆発 46人負傷 千葉・市原 1968(昭和43)
★製鉄所の金属溶解炉の修理中、CO中毒で1人死亡、1人重体 岡山・倉敷 2005(平成17)
★保線作業中、特急列車にはねられ3人死亡 鳥取・江府 JR 伯備線根雨～武庫間 2006(平成18)
- 25日(木)・日本最低気温の日 マイナス41℃を北海道旭川で記録 1902(明治35)
★冷凍食品から農薬(マラチオン)が検出された事件で、食品製造会社の契約社員逮捕 群馬・大泉 2014(平成26)
★金属加工工場でバーナーでドラム缶切断作業中に爆発、作業員が死亡 岐阜・大垣 2021(令和3)
- 26日(金)・文化財防火デー(消防庁、文化庁)法隆寺金堂の火災 1949(昭和24)を契機に
★「帝銀事件」東京の帝銀椎名町支店の行員が保健所からきたという不審者に青酸カリを飲まされ現金16万円などを奪われ12人死亡 1948(昭和23)
★病院の処置室で消毒用アルコールにストーブの火が引火し2人死亡、22人負傷 広島・尾道 1974(昭和49)
★東京・新大久保駅ホームから転落事故 転落した人を助けようと線路に降りた2人が電車にはねられ3人共死亡 2001(平成13)
- 27日(土)・国旗制定記念日 日の丸が商船の国旗に制定 1870(明治3)
・ハワイ移民出発の日 1885(明治18)年のこの日、ハワイへの移民第1号の船が横浜港を出港
★霧島山・新燃岳で爆発的噴火、宮崎県と鹿児島県で計42人負傷 九州南部 2011(平成23)
- 28日(日)★スキー貸切バスが笹平ダムに転落し25人死亡 長野・長野 1985(昭和45)
★米、スペースシャトル「チャレンジャー」が発射直後に爆発、乗員7人全員死亡 1986(昭和61)
★下水道管設置用の穴の掘削作業中に土砂崩れ、作業員1人が下敷きになり死亡 静岡・沼津 2021(令和3)
- 29日(月)・人口調査記念日 1872(明治5)年、日本初の全国戸籍調査が行われた、当時の人口約3,300万人
★踏切で建設作業者のワゴン車が列車と衝突し、6人全員が死亡 埼玉・羽生 1989(平成1)
★下り坂でブレーキの利がなくなった観光バスが道路から転落し46人重軽傷 静岡・熱海 2003(平成15)
★原子力発電所で配電設備点検中に感電事故、1人死亡、6人重軽傷 鹿児島・薩摩川内 2010(平成22)
★建設現場で足場解体中落雪、3人転落して1人が雪で窒息死、2人重軽傷 秋田・横手 2013(平成25)
- 30日(火)★京都で最大の火事、焼失家屋3万6千余、御所や二条城も焼失 1788(天明8)
★国道沿いで土砂崩れが発生、車両が埋没し搭乗者3人死亡 奈良・上北山村 2007(平成19)
★中国製冷凍ギョーザで千葉、兵庫の3家族が中毒症状を訴え9人入院と判明 2008(平成20)
★スキー場外で雪崩が発生、8人が巻き込まれ、1人死亡 北海道・占冠 2020(令和2)
★工事現場でコンクリートブロックを吊るしたクレーンが根本から折れ、作業員に激突し死亡 沖縄・うるま 2023(令和5)
- 31日(水)・生命保険の日 1881(明治14)年7月に日本初の生命保険会社が設立され、翌年のこの日、受取人第1号が現れた
・理化学研究所が新元素発見(原子番号113番)を認定され、その後「ニホニウム」と命名 2015(平成27)
★「昭和45年1月低気圧」青森県八戸市で史上1位となる最低気圧、死者不明25人、浸水・損壊5千棟以上 1970(昭和45)
★美容師宿舍が火災、美容師ら10人死亡 北海道・美唄 1971(昭和46)
★日航機ニアミス、41人重軽傷 急降下で乗客が天井に頭をぶつけるなどで 静岡県焼津市上空 2001(平成13)

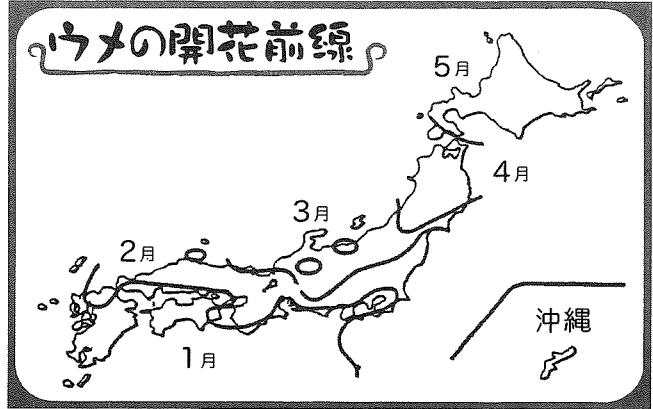
※「事故災害事例」は、国内の重大な事故・労災・気象災害等の中から選んでいます。

1月の安全衛生歳時記

1月の気象と安全・衛生・防災管理

	日の出・日の入		気温 (℃)	湿度 (%)	日照時間 (h)
	日の出	日の入			
北海道 (札幌)	7:04	16:24	-3.2	69	90.4
青森	7:00	16:33	-0.9	78	48.5
岩手 (盛岡)	6:55	16:34	-1.6	73	115.6
宮城 (仙台)	6:52	16:39	2.0	66	149.0
秋田	6:59	16:39	0.4	74	39.0
山形	6:54	16:41	-0.1	81	79.6
福島	6:52	16:42	1.9	68	132.2
茨城 (水戸)	6:49	16:46	3.3	63	195.4
栃木 (宇都宮)	6:52	16:48	2.8	61	211.7
群馬 (前橋)	6:55	16:51	3.7	54	213.1
埼玉 (熊谷)	6:51	16:50	4.3	53	217.0
千葉 (銚子)	6:49	16:49	6.6	62	179.8
東京	6:50	16:50	5.4	51	192.6
神奈川 (横浜)	6:50	16:51	6.1	53	192.7
新潟	6:59	16:48	2.5	72	56.4
富山	7:03	16:58	3.0	82	68.1
石川 (金沢)	7:05	17:00	4.0	74	62.3
福井	7:05	17:03	3.2	82	65.4
山梨 (甲府)	6:55	16:55	3.1	55	209.1
長野	6:59	16:54	-0.4	79	128.4
岐阜	7:02	17:03	4.6	66	161.3
静岡	6:54	16:57	6.9	57	207.9
愛知 (名古屋)	7:00	17:03	4.8	64	174.5
三重 (津)	7:01	17:05	5.7	61	162.9
滋賀 (彦根)	7:04	17:07	3.9	75	99.8
京都	7:05	17:08	4.8	67	123.5
大阪	7:05	17:10	6.2	61	146.5
兵庫 (神戸)	7:06	17:11	6.2	62	145.8
奈良	7:04	17:08	4.2	70	115.2
和歌山	7:05	17:12	6.2	61	135.8
鳥取	7:12	17:13	4.2	76	69.0
島根 (松江)	7:17	17:18	4.6	76	67.4
岡山	7:11	17:16	4.6	69	149.0
広島	7:16	17:22	5.4	66	138.6
山口 (下関)	7:20	17:27	7.2	63	95.8
徳島	7:07	17:15	6.3	61	160.3
香川 (高松)	7:10	17:16	5.9	63	141.4
愛媛 (松山)	7:14	17:22	6.2	63	129.2
高知	7:10	17:20	6.7	61	190.7
福岡	7:23	17:32	6.9	63	104.1
佐賀	7:22	17:34	5.8	69	128.2
長崎	7:23	17:36	7.2	66	103.7
熊本	7:20	17:33	6.0	70	133.0
大分	7:17	17:28	6.5	62	149.4
宮崎	7:15	17:32	7.8	66	192.6
鹿児島	7:18	17:36	8.7	66	132.6
沖縄 (那覇)	7:18	17:59	17.3	66	93.1

※日の出・日の入：15日における時刻（国立天文台）
 ※気温：1991～2020年の平均値（理科年表）



● 1月は一年の中で最も寒さが厳しい時期です。暦では今年の「小寒」が1月6日、「大寒」が20日で、小寒から2月3日の節分までが「寒の内」となっています。

● 日本海側では大雪による交通マヒや雪崩、除雪作業や屋根の雪下ろしでの事故に要注意です。多雪の年には、除雪作業時の事故が年間一千万件以上で、百人以上が亡くなっており、その約8割が65歳以上の高齢者となっています。

● この冬は暖冬の傾向で、日本海側では雪もまた、太平洋側では時として寒風が吹き荒れ、乾燥注意報が頻繁に出されます。防火対策を徹底しましょう。

● 厳冬期は、設備などに寒冷や凍結による異常が起きやすくなります。また、寒さで人の思考や行動も緩慢になり、ヒューマンエラーも起こりがちです。細心の注意を払いましょう。

● 暖かい室内で過ごすことが多く、運動不足になりがちです。インフルエンザなどの感染防止対策や生活習慣病悪化防止など健康管理にも留意しましょう。

● 平年より少ないようですが、こういうときには一度の降雪で大雪になることもあります。油断せず、備えをしっかりと行いましょう。

1月の安全衛生歳時記

12月1日~4月30日

安全衛生教育促進運動

正しい知識で 職場を安全・健康に！

事業場の実施事項（令和5年度実施要領より）

- (1) 年間の安全衛生教育実施計画の作成、これに基づく安全衛生教育の計画的かつ効果的な実施
- (2) 安全衛生教育の実施結果の記録・保存
- (3) 実施計画の作成、実施、実施結果の記録・保存など安全衛生教育に関する業務の実施責任者の選任
- (4) 法定教育等の徹底
 - ア 新入社員（パート・アルバイト、派遣労働者を含む）に対する雇入れ時教育
 - イ 配置転換により作業内容に変更があった者に対する作業内容変更時教育
 - ウ 危険有害業務に新たに従事する者に対する特別教育
 - エ 職長等に新たに就任する者に対する職長等教育および職長等の能力向上教育の推進
 - オ 就業制限業務、作業主任者を選任すべき業務での免許所有者や技能講習修了者などの資格者の充足
 - カ 安全衛生業務従事者（安全管理者、衛生管理者、安全衛生推進者、衛生推進者、安全推進者等）を選任・配置するための教育等
 - キ 危険有害業務従事者に対する教育、安全衛生業務従事者に対する能力向上教育
 - ク 化学物質管理者教育、保護具着用管理責任者教育
- (5) 法定教育以外の教育等の充実
 - ア 労働安全衛生マネジメントシステム、リスクアセスメント、機械安全に関する教育
 - イ 危険予知活動（KYT）に関する教育
 - ウ 健康保持増進措置を実施するスタッフを養成するための専門教育
 - エ 産業保健スタッフ等に対するメンタルヘルスクア推進のための教育・研修
 - オ 感染症の予防・対策に関する教育
 - カ 熱中症予防に関する教育
 - キ 騒音障害防止に関する教育
 - ク 健康の保持増進を図るための健康教育
 - ケ 職場のメンタルヘルス対策及びハラスメント防止のための教育・研修
 - コ 職場の救命処置及び応急手当に関する教育・研修
 - サ 経営トップ等に対する安全衛生セミナー
 - シ 管理職に対する安全衛生教育
 - ス 高齢者の労働災害防止と身体機能の向上のための教育
 - セ 外国人労働者に対する母国語や明解な図示などを活用した安全衛生教育
 - ソ 情報機器作業従事者および管理者に対する労働衛生教育
- (6) オンラインを活用した安全衛生教育の適切な活用と推進
- (7) 資格または特別教育等が必要な設備機器、作業場所等に対して、その必要な資格または特別教育の種類を掲示することや、有資格者に腕章を装着させることなど、安全衛生教育に関する「見える化」の推進
- (8) 講師、教材等の問題から、自ら安全衛生教育を実施することが困難な場合の、安全衛生関係団体等の活用による安全衛生教育の実施

令和5年12月1日から令和6年4月30日まで
は、「安全衛生教育促進運動」の期間です。
（主唱 中央労働災害防止協会、後援 厚生労働省）

この運動は、働く人の安全と健康を守る上で
中核となる安全衛生教育について、その重要性
を啓発し実施を促進するため実施されます。

安全衛生教育は、労働者の就業に当たり必要
な安全衛生の知識等を付与するもので、その効
果的な実施が求められています。

令和5年度は、騒音障害防止対策の管理者選
任時の教育の実施や、金属アーク溶接等作業主

任者限定技能講習、テールゲートリフターの操
作に係る特別教育義務化などが法令等により新
たに定められました。また、化学物質の自律的
な管理への移行においては、令和6年4月1日
より化学物質管理者及び保護具着用管理責任者
の選任が義務化されますが、選任には必要な講
習を受けることとなっています。

各事業者においては、左記事項等を参考に、
新入者・転入者等、教育・研修の対象者が増加
する年度初めに向けて計画的に準備を進め、着
実に推進していくことが重要です。